

泌尿器科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] パラフィン移植腎生検標本を用いた CAMR 早期診断関連遺伝子の検索

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 堀田 記世彦・泌尿器科 講師

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 堀田 記世彦・泌尿器科 講師

[共同研究機関名・研究責任者名]

市立札幌病院病理診断科 辻 隆裕

マサチューセッツ総合病院 Center for Transplantation Science Robert B. Colvin

[研究の目的] 腎移植後の CAMR (慢性抗体関連型拒絶反応) を発症した患者さんの遺伝子発現量を測定し、CAMR 発症前に発現が亢進する遺伝子を検索し、早期診断方法の向上に役立てることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

当院で腎移植を受けられた患者さんで、1994 年 4 月から 2018 年 3 月の間に移植腎生検標本の研究目的の利用についての保管に同意された方を対象とします。また、ドナーの方の情報についても利用させていただきます。

○利用する検体・カルテ情報

・対象となる患者さん (レシピエントの方)

検体：移植腎生検標本

カルテ情報：年齢、性別、血液型、原疾患名、腎移植日、既往歴、現病歴、腎移植後の腎機能の変化、拒絶反応の有無、病理結果、ミスマッチHLA

・ドナーの方の情報

年齢、性別、血液型、レシピエントとの関係、腎機能

上記の検体は、遺伝子発現量の測定のためにアメリカのマサチューセッツ総合病院に専用ボックスを使用しFeDex\*（フェデックス）にて送付されます。

(\*FeDexとは海外への書類や小荷物など国際輸送サービスを提供している航空貨物輸送会社)

**[研究実施期間]** 実施許可日～2023年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

**[連絡先・相談窓口]** 泌尿器科 担当医師 堀田 記世彦

住所：札幌市北区北15条西7丁目

電話：011-716-1161

FAX：011-706-785